

バスケットボール競技規則

1. 競技規則 2007年度財団法人日本バスケットボール協会規定の「競技規定」による。
2. 競技種目 バスケットボール競技とする。
3. 出場資格 茨城県、神奈川県、群馬県、埼玉県、東京都、栃木県、千葉県、山梨県
〔都県単位に2チーム以上出場することもできる〕
4. チームの編成 (1) 1チームの編成は、選手15人以内、監督、コーチ、マネージャーを含めて18人以内とする。
(2) ろう者は、部長、監督又コーチとして選手兼任を認める。
(3) 健常者は部長、監督、コーチとして選手兼任を認めない。
5. 競技方法 (1) 2チーム以上の参加により実施する。3チーム以内の場合はリーグ戦。4チーム以上の場合はトーナメントとする。
(2) 試合時間
1. ゲームは10分のピリオドを4回行う。
2. 第1ピリオドと第2ピリオドの間、第3ピリオドと第4ピリオドの間に、それぞれ2分のインダヴァル(休憩時間)をおく。
3. ハーフタイムは10分とする。
(3) 延長戦は5分、決着が付かなかった場合は再延長戦(5分)。決定するまで繰り返す。ハーフタイムは2分とする。
(4) 前回競技大会優勝チームは次回競技大会にシードチームとする。
6. 使用球 男子の場合は日本バスケットボール協会公認7号球とする。
女子の場合は日本バスケットボール協会公認6号球とする。
7. 申し合わせ事項 審判員とオフィシャルについて
(1) 審判員は、公正な判断をしてもらう為、日本バスケットボール協会公認、又は茨城県バスケットボール協会公認を持った審判員を採用する。
(2) オフィシャルは、開催地の高校生もしくは大学生バスケットボール部員に依頼する。
(3) 手話通訳者を配置する。(1コート内1人)
8. 組み合わせ抽選 (1) 監督・主将会議において、抽選を行う。
(2) 監督・主将会議において、監督・主将が共に欠席したチームは、原則的に出場を棄権したものとみなす。代理人が出席する場合は、事前に監督または主将が作成した委任状を提出しなければならない。
9. 表彰 (1) 4チーム以上出場した場合、優勝チームに優勝カップ(持ち回り)・賞状・メダルを、2位、3位には、賞状・メダルを授与する。但し、3チーム以下出場した場合は、優勝チームのみ優勝カップ(持ち回り)・賞状・メダ

- ルを授与する。
- (2) 個人表彰について、最優秀選手賞・敢闘賞を男女各 2 名に授与する。

バスケットボール競技注意事項

メンバー表とスターティングメンバーの提出

スターティングメンバーの提出は、試合開始 10 分前までにオフィシャルズに報告して、サインすること。

ユニフォームは、4 番から 18 番までの番号がついているウェアを着用し、これらの番号以外、または番号のないものの着用は、認めない。

ユニフォームは、都県名を胸部に明記し、着用すること。

ユニフォームは、組合せ上位が淡色（白）、濃色の 2 パターンを用意すること。

背番号の入ったユニフォームを用意できない場合は、大会に出場できない。

チーム・ベンチ

ベンチは、組合せ上位がオフィシャルズ席に向かって右側とする。

監督（部長）、コーチ、マネージャー及びゲームエントリーされた選手以外は、ベンチに入ってはならない。

攻撃する方向

前半（第 1・第 2 ピリオド）は、相手ベンチのコートに攻め、後半（第 3・第 4 ピリオド）は、自分のコートに攻める。

チャージド・タイムアウトの取り方

各チームは、前半 2 回、後半 3 回のチャージド・タイムアウトを取ることができる。

また、各延長タイムには 1 回ずつのチャージド・タイムを取ることが可能とする。

1 回のタイムアウトの時間は 1 分とする。

練習時間

コートの中で練習時間は、前試合の前後半の間のハーフタイムの 7 分間と前の試合が終了後の 10 分間をその時間にあてる。

プレーヤーが身につけるものについて認められないもの

指、手、手首、前腕、ひじの防具で、皮革、プラスチック、ソフトプラスチック、金属その他、硬い素材で作られているもの、これらの防具は裏面を柔らかい素材で覆ってあっても使用してはならない。

他のプレーヤーに切り傷や擦り傷を与えるような物髪飾り、宝石類（指輪、チェーン、ピアスなど）、補聴器